

# YAMAHA CHIMES

## CH-500/MCH-700

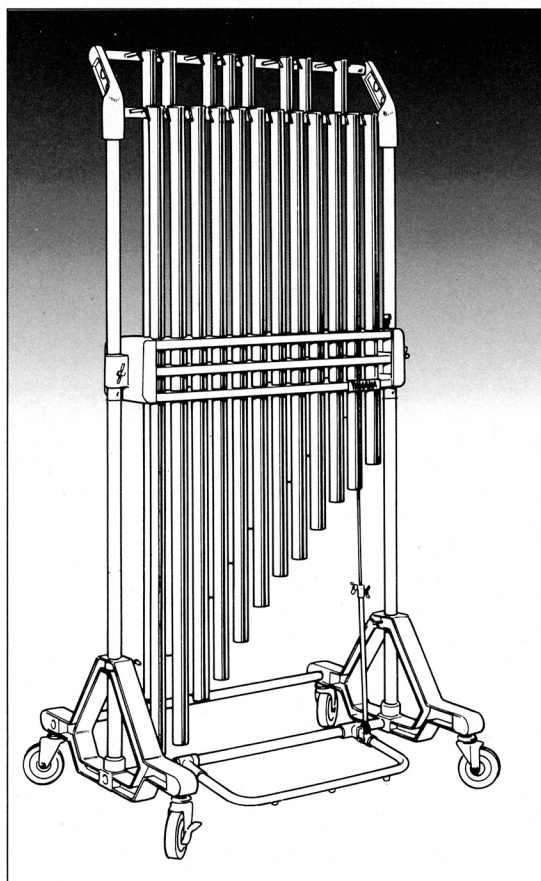
## CHS-520/CHS-506

### OWNER'S MANUAL

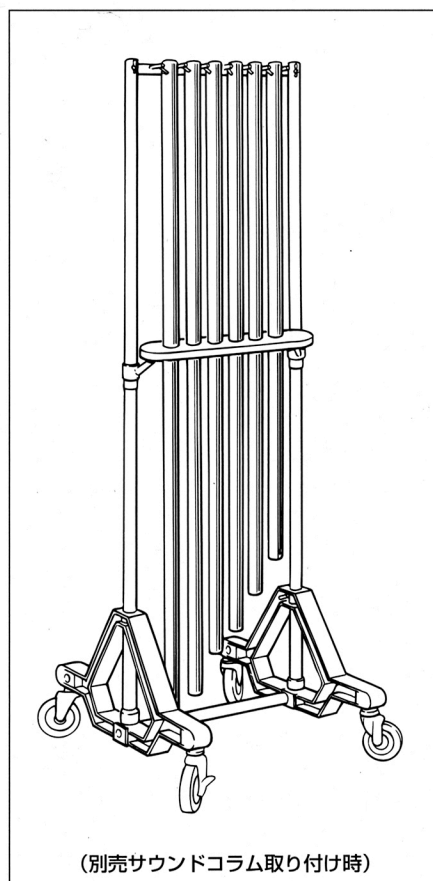
ヤマハチャイムをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
取扱説明書をご一読いただき、末長くご愛用いただきますようお願い申し上げます。

Thank you for selecting the Yamaha chimes.

Please read this owner's manual carefully, and truly enjoy this instrument for years to come.



CH-500



CHS-506



『安全へのこころがけ』および『ご使用にあたって』を必ずお読みください。

# 安全へのこころがけ

## チャイムを安全にご利用いただくためのご注意

チャイムはご家庭や学校内で、お子様から専門家まで幅広い方々にご愛用いただいております。

チャイムは大きくて重い楽器です。


室内での置き場所や日常の取り扱いについて、安全にご使用いただくため、下記の注意を必ず守ってください。



特に小さなお子様には、最初にご家族の方、または指導者から取り扱い方法を指導してください。


### 人身傷害の危険を防止するには ～以下の指示を必ず守ってください～

絵表示について

この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。


 注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

 禁止の行為を告げるものです。例:  → 分解禁止


 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

### 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。


 チャイムを使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。


#### 設置上の注意

 楽器をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

#### 取扱い上の注意

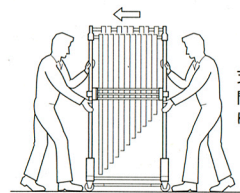
楽器にもたれかかったり、乗ったりしないでください。楽器が倒れて、大けがをすることがあります。

 楽器のまわりで遊ばないでください。身体をぶつけてけがをすることがあります。楽器の転倒の原因にもなります。お子様が楽器のまわりで遊ばないように注意してください。


 地震による強い揺れにより、楽器が移動したり転倒する恐れがあります。地震の際は楽器に近づかないようにしてください。


#### 移動の際の注意

1. キャスターを利用しての移動は、滑らかな平坦面でのみ行ってください。傾いた所や凸凹のある道、じゃり道は避けてください。チャイムが倒れたり暴走して大けがをします。
2. キャスターのロックが完全に外れていることを確認してから行ってください。ロックがかかったまま動かすと、転倒することがあります。
3. 2人で図のように支柱をささえ、間口の方向へゆっくりと押してください。走らないでください。楽器が止まらなくなり、壁にぶつかるなどして大けがをします。



支柱をささえ、  
間口の方向へ  
ゆっくりと押す

 **重量は、CH-500がおおよそ84kg・MCH-700が87kgです。**持ち上げて移動しなければならない時は、できるだけ多人数で、ケガ等のないよう十分に注意してください。その際には、ハンガー部(サウンドコラムの吊るしてある側)が必ず上になるように持ち上げます。ベースがハンガー部より上になるような持ち上げ方は、絶対に避けてください。サウンドコラムが落ちます。

 楽器を組立てた状態で、階段の登り降りをして運ばないでください。部品が落下したり、バランスを崩して倒れたりして危険です。必ず分解した状態で運んでください。

### 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。



頻繁に移動するような場合は、各部のボルト類がゆるむことがあります。移動後には、ゆるみをチェックし、ゆるんでいる場合は締めてください。



ハンマーは演奏目的以外には使用しないでください。けがや事故の原因となります。お子様が人の身体をたたくなど、危険な行為をしないように注意してください。



# Warning

Disregard of the warnings with this mark or misuse may result in death or personal injury.



Before you use the chime, carefully read the instructions listed below and the owner's manual.

## Cautions when setting the instrument.



Never place the instrument on an sloping, unstable, etc., platform. The instrument may fall or overturn and result in injury.

## Cautions for treatment of the instrument.



Never lean on or climb onto the instrument. The instrument may fall and result in injury. **Do not play** or roughhouse around the instrument. Bumping into the instrument may result in injury. It may also cause instrument may also fall over. Keep children away from the instrument.

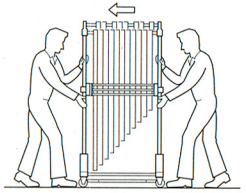


If an earthquake occurs, strong shocks caused by the earthquake may overturn the instrument or cause it to move about. Stay away from the instrument during earthquakes.

## Cautions when moving the instrument.

- When moving with the casters, move on **smooth surfaces only**. Do not move on sloping, rough or gravel surfaces. The chime may overturn, roll away recklessly causing injury.
- Move the instrument only after making sure that the caster locks are off. If the instrument is moved with the casters locked, it may overturn.
- Two persons are required to move the instrument. As shown in the illustration, both persons should hold the stand by its side columns and move the instrument **slowly** in the direction you want to go. Do not run. It may be impossible to stop the instrument, bump into the wall and cause injury.

Hold the stand by its side columns and move slowly in the direction you want to go.



**Weight, CH-500 about 84 kg, MCH-700 about 87 kg.** If the instrument must be lifted, use as many people as possible and lift it being careful not to cause any injury. Make sure that the hanger (the part from which the sound columns are suspended) is always upright. Never allow the base to be higher than the hanger. The sound columns will fall.



With the instrument fully assembled, do not transport up or down a staircase. Parts may fall off, balance may be lost causing



# Caution

Injury or handicaps to persons caused by the disregard of warnings with this mark or, misuse of the instrument, may result in the loss of personal property.



If the instrument is often moved, bolts, parts, etc., may become loose. After moving the instrument, check and make sure all bolts, parts, etc., are firmly fastened. Firmly tighten all loose items.



Do not use the hammer for anything other than playing the instrument. It may be the cause of injury or accidents. Do not let children strike others, etc., with the hammer. Do not allow such dangerous behavior to take place.

## 保証書とアフターサービス

## ご相談窓口のご案内

### 保証書

- \* この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- \* 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

### アフターサービス

- \* アフターサービス(修理)は、お買い上げの販売店または、ヤマハ管教育楽器テクニカルセンターがお引き受けいたします。お気軽にご相談ください。
- \* 調子が悪いときはまずチェック  
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- \* それでも具合が悪いときはサービス窓口へ  
お買い上げの販売店または、右記の「ご相談窓口のご案内」にある窓口にご相談ください。
- \* 保証期間中の修理について  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- \* 保証期間経過後の修理について  
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

ヤマハ管楽器・教育・打楽器のアフターサービス(修理)、お買い物相談については  
お買い上げの販売店または、下記のお近くのご相談窓口をご利用ください。

- 窓口区分 ① 修理ご相談窓口 ..... アフターサービス(修理)についてのご相談
- ② お買い物相談窓口 ..... お買い物、販売店ご紹介、お取扱方法についてのご相談

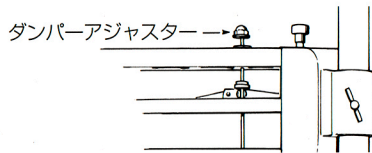
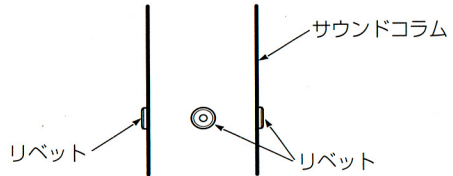
ヤマハ管教育楽器に関するお問い合わせは

- ① 修理ご相談 打楽器テクニカルセンター  
〒435-0048 浜松市上西町1911  
「管教育楽器お客様相談窓口」  
TEL 053-460-2412  
FAX 053-460-0207  
☎ 0120-311210
- ② お買い物相談 管教育楽器事業部(管打営業課)  
〒430-8650 浜松市中沢町110-1  
TEL 053-460-2821  
FAX 053-466-1804

北海道	北海道支店	管弦打学校営業課	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1丁目 1-50 ヤマハセンター内 TEL 011 (512) 6114
青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島	仙台支店	管弦打学校営業課	〒980-0804	仙台市青葉区大町 2-2-10 TEL 022 (222) 6146
東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・山梨・長野・新潟・栃木	東京支店	管弦打楽器営業課 学校営業課	〒108-8568	東京都港区高輪 2-17-11 TEL 03 (5488) 1672
愛知・静岡・三重・岐阜・福井・石川・富山	名古屋支店	管弦打学校営業課	〒460-8588	名古屋市中区錦 1-18-28 TEL 052 (201) 5166
大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・愛媛・高知・沖縄・広島・島根・山口	大阪支店	管弦打楽器営業課 学校営業課	〒542-0081	大阪市中央区南船場 3-12-9 (心齋橋プラザビル東館) TEL 06 (6252) 5341
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	九州支店	管弦打学校営業課	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4 TEL 092 (472) 2155

# ご使用にあたって

- 1 サウンドコラムに、金属製のハンマーやマレットを使用することは、絶対に避けてください。サウンドコラムが破損します。
- 2 床が水平な場所で使用してください。  
水平でない場所では、機能が十分に発揮されません。
- 3 スタンドを組み立てる時は、各部の取り付けをしっかりと行なって、ねじれやゆがみがないように、また各蝶ネジ部も確実に締め付けてください。
- 4 ダンパーペダルは、つま先で操作します。体重をかけたり、乗ることは避けてください。破損の原因になります。
- 5 下図のダンパーアジャスターには、触れないようにしてください。工場出荷時に調整してあります。ダンパーアジャスターを動かすと、ダンパーが作動しなくなることがあります。
- 6 演奏使用する時は、キャストにしっかりとブレーキをかけ、動き出さないようにしてください。
- 7 サウンドコラム(音管)のリベットは、ハンマーで叩かないでください。(MCH-700)
- 8 高温・多湿の場所で保管すると、楽器の寿命を縮めますので避けてください。
- 9 普段の手入れは、柔らかい布でカラ拭きしてください。シンナーやミカキ粉等で拭くことは、絶対に避けてください。
- 10 別売の専用カバー(CHB-50)を掛けておきますと、ホコリ等を防ぐことができます。

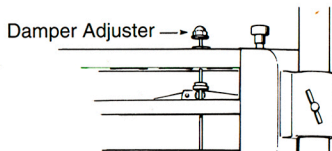
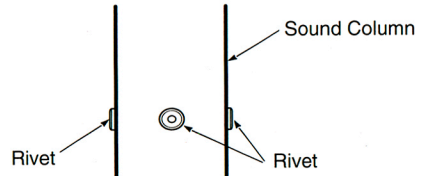


## 〈運搬上の注意〉

- 1 運搬・移動の際には、楽器に衝撃を与えないよう、十分に注意してください。
- 2 サウンドコラム(音管)に傷がついたり、曲がったりすると、音程・音色が損なわれますので特にご注意ください。
- 3 長距離の移動、特に車両等での移動の際は、必ずサウンドコラムをスタンドから外して行ってください。スタンドが変形したり、サウンドコラムのワイヤー／吊りひもが切れることがあります。
- 4 サウンドコラムの取り付け・取り外しは、スタンドや他の物に当たらないよう、広い場所で慎重に行なってください。
- 5 取り外したサウンドコラムは、傷がつかないように柔らかい布等でくるんで運搬してください。

# Before you use

- 1 Never use a metal type hammer or mallets to strike the sound column with. The sound column will break.
- 2 Always use the instrument on a flat, level surface. The instrument will not function properly on a sloped surface.
- 3 When assembling the stand, make sure each part is firmly attached, and there is no twisting or disfigurement in the frame. Also, make sure that all wing nuts are firmly tightened.
- 4 Use your toes to operate the damper pedal. Do not stand on or put your weight on the pedal. Doing so may cause the pedal to break.
- 5 Do not touch the damper adjuster (shown in the illustration below). The adjuster has been adjusted at the factory. Moving the adjuster may result in the damper not functioning properly.
- 6 When playing the chime, make sure the caster brakes are firmly set and the chime stand does not move about.
- 7 Do not strike the sound column's rivets with the hammer (**MCH-700**).
- 8 Do not keep the chime in a place where high temperatures and high humidity are present. Doing so will result in the shortening of the instruments life.
- 9 For regular cleaning, wipe with a soft, dry cloth. Never wipe with thinner, or polishing preparations.
- 10 Covering the chime with the optionally available cover (CHB-50) will help keep dust off of the instrument.

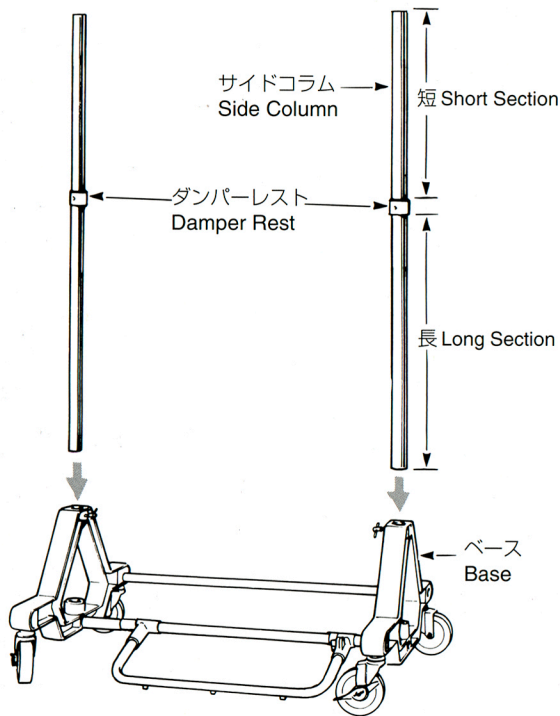


## Be careful when transporting

- 1 When transporting or moving the instrument, do not subject it to strong shocks.
- 2 The sound column's pitch and/or tone may change if the columns are scratched or bent. Be careful.
- 3 When the instrument is to be transported over long distances, especially by vehicle, do so with the sound columns removed from the stand. The shape of the stand may change and the column's wire/strings may be cut if the columns are not removed.
- 4 When attaching or removing the sound columns, do so in a place where there is sufficient room so that the columns do not come into contact with other objects.
- 5 After the sound columns are removed, wrap them in a soft cloth, etc., to prevent scratching, and then transport.

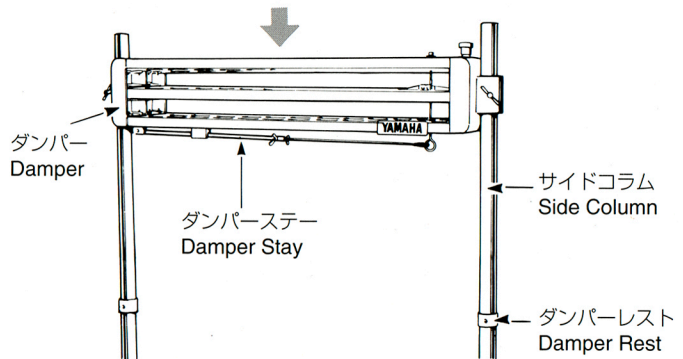
**1** サイドコラムをベースに差し込みます。  
この時、サイドコラムの中ほどに付いている金具  
(ダンパーレスト)から先端までの長さが短い方を上向き  
にします。

Insert the side columns into the base. At this time,  
make sure that the damper rest, attached at the  
center of the column, and the short section of the  
column is positioned upright.



**2** サイドコラムにダンパーをはめ込み、ダンパーレ  
ストの位置まで下げます。次にダンパーの蝶ネジ  
を締め、固定します。この時サイドコラムとベースを固  
定する蝶ネジも締め付けます。

Fit the damper onto the side columns and lower the  
damper onto the damper rest. Next, secure the  
damper in its position with the damper wing bolts.  
At this time, tighten the wing bolts that secure the  
side column to the base as well.

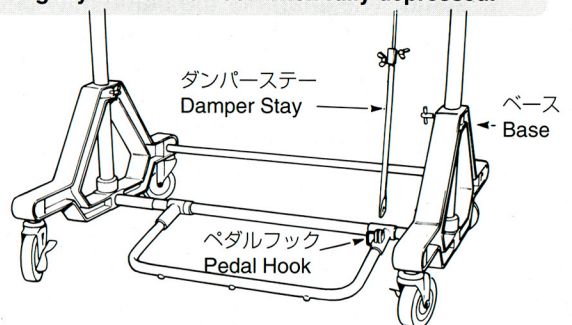


**3** ダンパーの下部に保持されているダンパーステー  
を外し、蝶ネジを緩めてペダルフックにステーを  
固定します。ペダルの位置は、ステーの2ヶ所の蝶ネジ  
で長さを調節します。この時、上側の蝶ネジを先に締め  
た後、下側の蝶ネジを締めます。

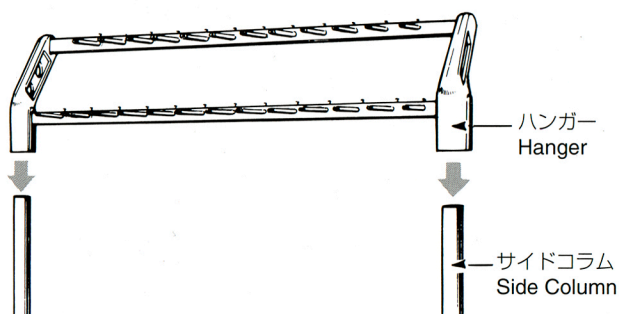
ペダルを踏み込んで止まる位置が床面より少し浮いた  
状態が最適です。

Remove the damper stay, attached to the bottom of  
the damper, loosen the wing bolt on the damper  
stay, and attach the stay to the pedal hook. The  
pedal's position can be controlled by adjusting the  
length of the pedal stay with its two wing bolts. At  
this time, tighten the upper wing bolt first, then go  
on to tighten the lower bolt.

Adjust the pedal position so that the pedal stops  
slightly above the floor when fully depressed.



- 4** ハンガーをサイドコラムに差し込みます。  
Slide the hanger onto the side columns.

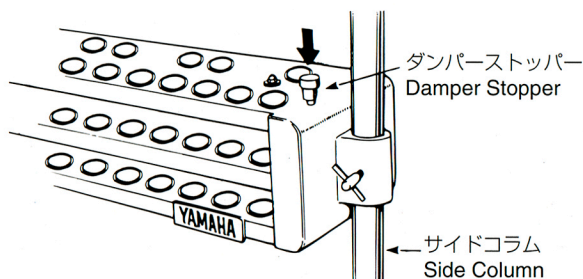


- 5** ダンパーストッパーは、ペダルを踏み込んだ状態で下に押さえ、そのままペダルから離すとストッパーがかかります。

To activate the damper stopper, depress the pedal and press the stopper. When the pedal is released, the stopper will hold the damper in place.

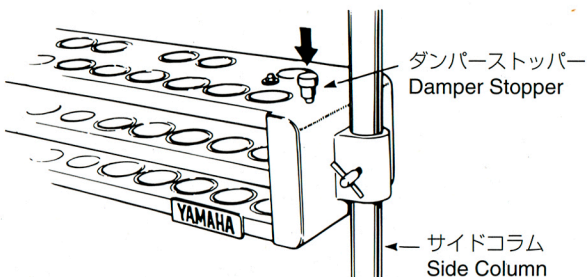
## CH-500/CHS-520

(ダンパーの穴形状が円形です。)  
(The shape of the damper is round.)



## MCH-700

(ダンパーの穴形状が楕円です。)  
(The shape of the damper is oval.)

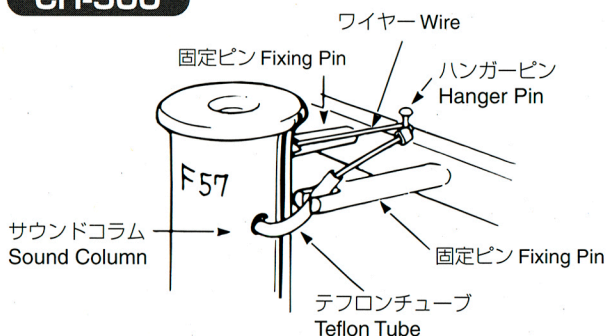


※分解する時は、組み立てる時と反対の手順で行いません。

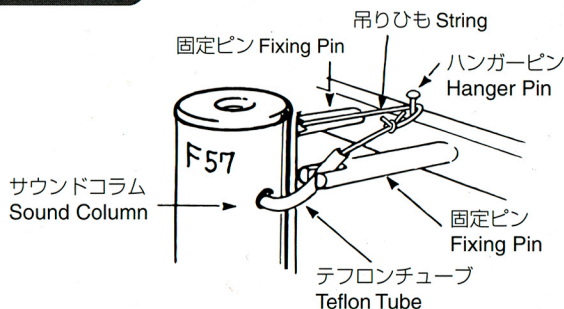
\*Disassembly is performed simply by reversing the assembly order.

- 6** サウンドコラム(音管)をハンガーに掛ける時は、まずダンパーストッパーを固定します。サウンドコラムは、音名の刻印を前面にして、片方の固定ピンの溝にワイヤー/吊りひもを掛け、次にハンガー上部のピンに掛けてから、もう一方の固定ピンの溝にワイヤー/吊りひもを通します。Before hanging the sound columns on the hanger, activate the damper stopper. Position the sound column with its pitch inscription facing forward, place one side of the wire /strings into the slot of the fixing pin. Next, hook the wire/strings on the hanger pin, finally place the wire/strings into the slot of the remaining fixing pin.

## CH-500



## MCH-700

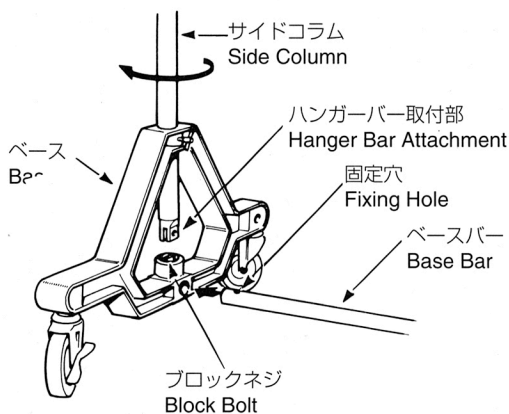


サウンドコラムをハンガーに掛ける手順は、派生音(C#53~F#70)の列から先に掛け、その後幹音(C52~G71)の列を掛ける方が便利です。

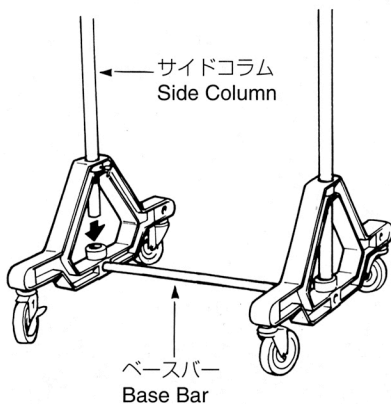
When hanging the sound columns, it is easier to hang the accidental tones (C#52-F#71) first, then hang the natural tones (C52-G71).

**1** ベースバーの固定穴をベースのネジ穴と合わせるように接続し、ブロックネジを締め付け固定します。(サイドコラムの上端がブロックネジ固定用の工具になっています。)

With the fixing hole on the base bar aligned with the bolt hole in the base, connect the base bar to the base. Tighten the block bolt to secure the base bar to the base. (The upper end of the side column acts as tool to tighten the block bolt. Insert the upper end of the column and tighten the block bolt by rotating the side column.)



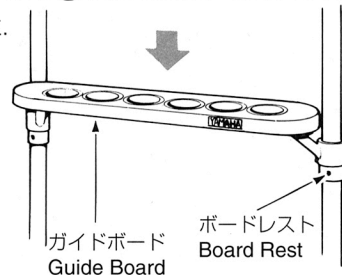
**2** ブロックネジを固定した後、サイドコラムのハンガーバー取付部を上にして、ベースに差し込みます。After tightening the block bolt, re-insert the side column into the base with making sure that the side column's hanger attachment positioned upright.



※分解する時は、組み立てる時と反対の手順で行ないます。

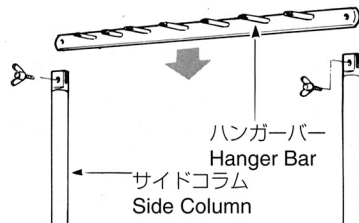
\*Disassembly is performed simply by reversing the assembly order.

**3** ガイドボードをボードレストまで、はめ込みます。Fit the guide board onto the side columns and lower the guide board until it rests on the board rest.



**4** ハンガーバーをサイドコラム上端にはめ込み、蝶ネジで固定します。この時、サイドコラムとベースを固定する蝶ネジも締め付けます。

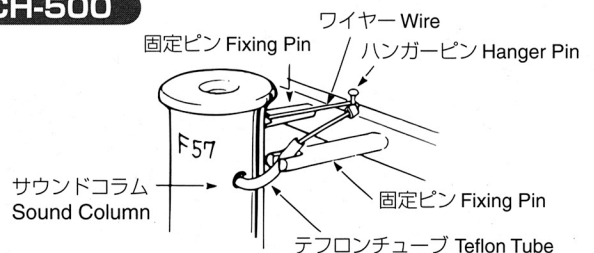
Attach the hanger bar on the top of the side columns and secure with the wing bolts. At this time, also tighten the wing bolts on the side column and base.



**5** サウンドコラムの刻印を前面にして、ハンガーに固定します。

Position the sound column with its pitch inscription facing forward, and attach the sound column to the hanger bar.

**CH-500**



**MCH-700**

